

新 旧 対 照 表

(下線部は変更部分)

○「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組～文化，産業をはじめとする京都の魅力の世界への発信～ (抄)

平成 28 年 8 月 2 日 認定
平成 30 年 3 月 30 日 変更認定

| 変更後 | 変更前 |
|---|---|
| <p>1～3 (略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>人口100万人を超える大都市であり，かつ千年以上の歴史の中で一度も絶えることなく脈々と都市の営みを続けてきた京都は，世界的にも稀有な都市である。その悠久の歴史の中で京都は，国内外の都市との多様な交流を通して，日本の伝統的な美意識や価値観，暮らしの美学，家族や地域の絆，自然への感謝の念をはじめとする「日本のこころ」が磨かれ，継承されながら，今もなお日常生活の中に色濃く息づくとともに，新たな文化を受け入れ，刺激を受けつつ，常に新しい文化を生み出している。</p> <p>しかしながら近年の日本社会では，本市も含めて，大量生産・大量消費，効率主義，グローバル化などが進むとともに，自然との共生，手間・ひま・心を注ぐことを尊ぶ価値観，家族や地域とのつながりが希薄になるなど，文化の無国籍化や同質化が進んでいる。「日本のこころ」の消滅に繋がりがかねないこうした状況は，「人口減少」と同等に我が国の将来にとって深刻な問題である。</p> <p>京都市は，国内外から年間5000万人を超える観光客が訪れる「観光立国・日本」の拠点であり，同時に世界歴史都市連盟（<u>65箇国</u>・地域から<u>117都市</u>が加盟）の会長及び事務局を発足当初から約30年間務めるとともに，姉妹都市（9都市）・パートナーシティ（6都市）との交流が盛んな国際都市でもある。</p> <p>さらに，文化庁の京都移転方針が決定され，京都だけでなく，日本全体で「日本のこころ」を再評価し，「日本のこころの創生」に取り組み，さらに世界に発信していく絶好の</p> | <p>1～3 (略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>人口100万人を超える大都市であり，かつ千年以上の歴史の中で一度も絶えることなく脈々と都市の営みを続けてきた京都は，世界的にも稀有な都市である。その悠久の歴史の中で京都は，国内外の都市との多様な交流を通して，日本の伝統的な美意識や価値観，暮らしの美学，家族や地域の絆，自然への感謝の念をはじめとする「日本のこころ」が磨かれ，継承されながら，今もなお日常生活の中に色濃く息づくとともに，新たな文化を受け入れ，刺激を受けつつ，常に新しい文化を生み出している。</p> <p>しかしながら近年の日本社会では，本市も含めて，大量生産・大量消費，効率主義，グローバル化などが進むとともに，自然との共生，手間・ひま・心を注ぐことを尊ぶ価値観，家族や地域とのつながりが希薄になるなど，文化の無国籍化や同質化が進んでいる。「日本のこころ」の消滅に繋がりがかねないこうした状況は，「人口減少」と同等に我が国の将来にとって深刻な問題である。</p> <p>京都市は，国内外から年間5000万人を超える観光客が訪れる「観光立国・日本」の拠点であり，同時に世界歴史都市連盟（<u>63箇国</u>・地域から<u>112都市</u>が加盟）の会長及び事務局を発足当初から約30年間務めるとともに，姉妹都市（9都市）・パートナーシティ（6都市）との交流が盛んな国際都市でもある。</p> <p>さらに，文化庁の京都移転方針が決定され，京都だけでなく，日本全体で「日本のこころ」を再評価し，「日本のこころの創生」に取り組み，さらに世界に発信していく絶好の</p> |

機会を迎えている。

こうした強みを活かし、文化庁等の政府関係機関や各国大使館等との連携による、文化・芸術・産業等の分野での若者を中心とした国際交流事業を通して、京都が蓄積してきた伝統文化・伝統産業をはじめとした京都ブランド、さらには「和の文化」、「クールジャパン」など日本ブランドの国際的な発信に取り組むことで京都への外国人の誘客増加を図る。同時に、世界の国々からの訪問者を積極的に受け入れ、多彩な交流機会を通して次代を担う国際感覚あふれるひとを育て、新しい文化を創造し続ける国際都市を目指す。

これらの取組を通して、「日本のこころ」、「日本の文化」を世界に発信し、尊敬を集めることにより、日本人自身が「日本のこころ」、「日本の文化」が持つ力を再認識し、再生し、磨きをかけることができる日本を実現することが、京都の創生はもとより、日本の創生に向けて本市に課せられた責務と捉え、覚悟を持って「世界の文化首都・京都」の実現を目指したい。

【数値目標】

| 事業 | 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | | 年月 |
|-----|-----------------------|---------|-----|
| | KPI | 外国人宿泊客数 | |
| (略) | (略) | (略) | (略) |
| 4年目 | (略) | 5,700人 | (略) |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 (略)

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

機会を迎えている。

こうした強みを活かし、文化庁等の政府関係機関や各国大使館等との連携による、文化・芸術・産業等の分野での若者を中心とした国際交流事業を通して、京都が蓄積してきた伝統文化・伝統産業をはじめとした京都ブランド、さらには「和の文化」、「クールジャパン」など日本ブランドの国際的な発信に取り組むことで京都への外国人の誘客増加を図る。同時に、世界の国々からの訪問者を積極的に受け入れ、多彩な交流機会を通して次代を担う国際感覚あふれるひとを育て、新しい文化を創造し続ける国際都市を目指す。

これらの取組を通して、「日本のこころ」、「日本の文化」を世界に発信し、尊敬を集めることにより、日本人自身が「日本のこころ」、「日本の文化」が持つ力を再認識し、再生し、磨きをかけることができる日本を実現することが、京都の創生はもとより、日本の創生に向けて本市に課せられた責務と捉え、覚悟を持って「世界の文化首都・京都」の実現を目指したい。

【数値目標】

| 事業 | 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | | 年月 |
|-----|-----------------------|---------|-----|
| | KPI | 外国人宿泊客数 | |
| (略) | (略) | (略) | (略) |
| 4年目 | (略) | 二 | (略) |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 (略)

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

- (1)・(2) (略)
- (3) 事業の目的・内容
 (目的)・(事業の内容) (略)

→各年度の事業内容

初年度)～3年目) (略)

4年目)

- ・ ボストン市との姉妹都市提携 60 周年記念事業として、ボストン市において、全米最大規模の日本祭りでの京都国際マンガミュージアムを中心としたコンテンツの魅力発信や、子ども博物館での工芸作家によるワークショップなど、京都の魅力を発信する。
- ・ 京都市内においては、日米両文化を比較するフォーラムや音楽交流イベント等を実施し、市民・民間団体等による交流を一層深め、これまで培ってきた姉妹都市との交流の輪を更に広げていく。

(4) (略)

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (KPI))

| 事業 | 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | 年月 |
|-----|-----------------------|-------|
| KPI | 本事業への外国人参加・来場者数 | |
| (略) | (略) | (略) |
| 3年目 | (略) | (略) |
| 4年目 | 5,700人 | H32.3 |

(6) 事業費

(単位：千円)

| 「世界の文化首都・京都」の実現 | 年度 | (略) | H30 | H31 | 計 |
|-----------------|------|-----|-----|--------|--------|
| | 事業費計 | (略) | (略) | 16,065 | 84,506 |

- (1)・(2) (略)
- (3) 事業の目的・内容
 (目的)・(事業の内容) (略)

→各年度の事業内容

初年度)～3年目) (略)

(新設)

(4) (略)

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (KPI))

| 事業 | 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | 年月 |
|------|-----------------------|------|
| KPI | 本事業への外国人参加・来場者数 | |
| (略) | (略) | (略) |
| 3年目 | (略) | (略) |
| (新設) | (新設) | (新設) |

(6) 事業費

(単位：千円)

| 「世界の文化首都・京都」の実現 | 年度 | (略) | H30 | (新設) | 計 |
|-----------------|------|-----|-----|------|--------|
| | 事業費計 | (略) | (略) | (新設) | 68,441 |

| | | | | | |
|--------|---------------|-----|-----|-------|--------|
| に向けた取組 | | | | | |
| 区分 | 報償費 | (略) | (略) | 680 | 1,848 |
| | 旅費 | (略) | (略) | 4,618 | 10,068 |
| | 需用費(諸費を含む) | (略) | (略) | 250 | 1,683 |
| | 役務費(通信運搬費を含む) | (略) | (略) | 126 | 256 |
| | 委託料 | (略) | (略) | 5,916 | 33,271 |
| | 負担金 | (略) | (略) | 4,475 | 37,380 |

(7) 申請時点での寄附の見込み

(単位：千円)

| | | | | |
|-----|-----|-----|------------------|-------|
| 年度 | (略) | H30 | H31 | 計 |
| 法人名 | (略) | (略) | (株)ファイブ フォックス | |
| 見込額 | (略) | (略) | 1,000 | 4,000 |

(8) (略)

(9) 事業期間 平成28年9月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 (略)

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) (略)

(削る。)

| | | | | | |
|--------|---------------|-----|-----|------|--------|
| に向けた取組 | | | | | |
| 区分 | 報償費 | (略) | (略) | (新設) | 1,168 |
| | 旅費 | (略) | (略) | (新設) | 5,450 |
| | 需用費(諸費を含む) | (略) | (略) | (新設) | 1,433 |
| | 役務費(通信運搬費を含む) | (略) | (略) | (新設) | 130 |
| | 委託料 | (略) | (略) | (新設) | 27,355 |
| | 負担金 | (略) | (略) | (新設) | 32,905 |

(7) 申請時点での寄附の見込み

(単位：千円)

| | | | | |
|-----|-----|-----|------|-------|
| 年度 | (略) | H30 | (新設) | 計 |
| 法人名 | (略) | (略) | (新設) | |
| 見込額 | (略) | (略) | (新設) | 3,000 |

(8) (略)

(9) 事業期間 平成28年9月～平成31年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 (略)

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) (略)

(2) 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組～文化、産業をはじめとする京

都魅力の世界への発信～

事業概要：京都に色濃く残る日本の伝統・文化等を活かした、プラハ、パリ、ボ

| | |
|----------------|--|
| <p>6・7 (略)</p> | <p><u>ストンとの姉妹都市提携周年事業や「ニューイ・ブランシュKYOTO」等の関係団体が実施している国際交流事業と連携した、京都文化を発信・体感する多様な国際交流事業を実施する。</u></p> <p><u>平成31年度)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ボストン市との姉妹都市提携60周年記念事業として、ボストン市において京都の魅力を紹介する展覧会や見本市, 観光プロモーション等, 京都市内においてボストン及びアメリカの文化を紹介する展覧会や演奏会等を実施する。</u> ・ <u>パリ市との友情盟約60周年において醸成された交流の輪を維持・拡大していくため、取組を拡充させ、複合的に国際文化交流事業に取り組む。</u> <p><u>実施主体：京都市</u></p> <p><u>事業期間：平成31年度</u></p> <p>6・7 (略)</p> |
|----------------|--|

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組～文化，産業をはじめとする京都の魅力の世界への発信～

2 地域再生計画の作成主体の名称

京都市

3 地域再生計画の区域

京都市の全域

4 地域再生計画の目標

人口100万人を超える大都市であり，かつ千年以上の歴史の中で一度も絶えることなく脈々と都市の営みを続けてきた京都は，世界的にも稀有な都市である。その悠久の歴史の中で京都は，国内外の都市との多様な交流を通して，日本の伝統的な美意識や価値観，暮らしの美学，家族や地域の絆，自然への感謝の念をはじめとする「日本のこころ」が磨かれ，継承されながら，今もなお日常生活の中に色濃く息づくとともに，新たな文化を受け入れ，刺激を受けつつ，常に新しい文化を生み出している。

しかしながら近年の日本社会では，本市も含めて，大量生産・大量消費，効率主義，グローバル化などが進むとともに，自然との共生，手間・ひま・心を注ぐことを尊ぶ価値観，家族や地域とのつながりが希薄になるなど，文化の無国籍化や同質化が進んでいる。「日本のこころ」の消滅に繋がりがかねないこうした状況は，「人口減少」と同等に我が国の将来にとって深刻な問題である。

京都市は，国内外から年間5000万人を超える観光客が訪れる「観光立国・日本」の拠点であり，同時に世界歴史都市連盟（65箇国・地域から117都市が加盟）の会長及び事務局を発足当初から約30年間務めるとともに，姉妹都市（9都市）・パートナーシティ（6都市）との交流が盛んな国際都市でもある。

さらに，文化庁の京都移転方針が決定され，京都だけでなく，日本全体で「日本のこころ」を再評価し，「日本のこころの創生」に取り組み，さらに世界に発信していく絶好の機会を迎えている。

こうした強みを活かし，文化庁等の政府関係機関や各国大使館等との連携による，文化・芸術・産業等の分野での若者を中心とした国際交流事業を通して，京都が蓄積してきた伝統文化・伝統産業をはじめとした京都ブランド，さらには「和の文化」，「クールジャパン」など日本ブランドの国際的な発信に取り組むことで京都への外国人の誘客増

加を図る。同時に、世界の国々からの訪問者を積極的に受け入れ、多彩な交流機会を通して次代を担う国際感覚あふれるひとを育て、新しい文化を創造し続ける国際都市を目指す。

これらの取組を通して、「日本のこころ」、「日本の文化」を世界に発信し、尊敬を集めることにより、日本人自身が「日本のこころ」、「日本の文化」が持つ力を再認識し、再生し、磨きをかけることができる日本を実現することが、京都の創生はもとより、日本の創生に向けて本市に課せられた責務と捉え、覚悟を持って「世界の文化首都・京都」の実現を目指したい。

【数値目標】

| 事業 | 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | | 年月 |
|-----|-----------------------|---------|--------|
| | KPI | 外国人宿泊客数 | |
| 申請時 | 183万人 | 0人 | H28. 3 |
| 初年度 | 220万人 | 920人 | H29. 3 |
| 2年目 | 240万人 | 950人 | H30. 3 |
| 3年目 | 265万人 | 1, 380人 | H31. 3 |
| 4年目 | 290万人 | 5, 700人 | H32. 3 |

5 地域再生計画を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 (3) に記載

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例
(内閣府) : 【A2007】

(1) 事業の名称 : 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組
～文化、産業をはじめとする京都の魅力の世界への発信～

(2) 事業区分 : 観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

本市の国際交流事業は、ボランティア、NPO、学校、企業など伝統文化やまちを支える各界各層の団体が参加する市民レベルでの国際交流が特徴である。こうした多様な参加者による交流の場において、ほんものの日本の文化に直に触れる機会を多数設け、真の京都ファンを育む。同時に、若者を中心とした多くの市民が、海外の多様な文化に直に触れ、真の国際感覚を育む。

一方、もうひとつの特徴として、本市の国際交流事業に伴い、これまでインドのモディ首相、イタリアのレンツィ首相、フランスのヴァルス首相が入洛されるなど、都市間レベルの交流が、国家間レベルの交流にまで発展してきた点がある。その国の要人が日本文化に親しむ姿は、ともに入洛される海外メディアに大きく取り上げられ、京都の持つ魅力が、その国民に強いインパクトを与え、「京都をもっと知りたい!」「京都に行きたい!」という機運を高めてきた。こうした、これまでの実績を活かし、「京都への憧れ」を広く醸成する。

これら2点の特徴を踏まえたうえで、さらには、文化庁の京都への全面的な移転を契機とした、京都ならではの文化をより強化・充実させていくことで、外国人の誘客増加等を図ることを目的とする。

(事業の内容)

京都に色濃く残る日本の伝統・文化等を活かした、プラハ、パリ、ボストンとの姉妹都市提携周年事業や「ニューイ・ブランシュKYOTO※」等の関係団体が実施している国際交流事業と連携した、京都文化を発信・体感する新たな事業をはじめとした多様な国際交流事業に取り組むことにより、京都への外国人の誘客増加を図る。

※ ニュイ・ブランシュKYOTO

パリ市で毎年開催されている白夜祭に合わせ、アンスティチュ・フランセ関西(フランス政府公式の文化機関)が中心となって、京都市内でフランス・パリの現代アートやダンス、音楽などの多彩な文化を紹介・発信する事業

→各年度の事業内容

初年度)

- ・ プラハ市との姉妹都市提携20周年記念事業として、京都市内においてプラハ及びチェコの文化を紹介する展覧会や演奏会等のイベントを実施する。事業の様子とともに、京都の持つ魅力が海外メディア等で取り上げられることにより、「京都を訪れたい」という機運を高めるとともに、事業に合わせて入洛された方々が、京都の「おもてなし」を体感することで、「京都を再び訪れたい」、「京都を訪れるように勧めたい」と思ってもらえることにより、京都を訪れる外国人の増加を図る。
- ・ 文化庁の移転を契機とした「京都の文化」を感じていただける新たな事業として、京都の伝統文化をモチーフにしたファッションや、伝統産業の技術が応用された製品を紹介する展示会などを、寺社仏閣などの京都ならではの会場で実施することにより、現代に息づく京都の文化の新たな魅力を国内外に発信する。

2年目)

- ・ 京都市の友好都市（9 姉妹都市・6 パートナーシティ）出身の留学生と市内の高校生を中心とした青少年による「友好都市青少年会議」を開催し、環境にやさしい生活文化や伝統文化の保全，文化を基軸としたまちづくり等について意見交換を行い，ワークショップや文化交流を通じて，相互理解を深めるとともに，京都の伝統芸能を体験するなど，参加留学生が京都を第二のふるさとと感じられる機会を提供する。それにより，参加留学生の京都への愛着を一層，醸成するとともに，留学生が京都と母国の懸け橋として様々な機会に京都の魅力を伝え，母国の家族，友人，知人等の京都への訪問意識向上につなげる。
- ・ 次年度に控えるパリ市との友情盟約60周年に向けて，文化や芸術を通じたパリと京都の融合等の観点を取り入れた企画の更なる拡充などを図るとともに，様々な観点から京都の魅力を発信することで，京都を訪れる観光客の増加を図る。

3年目)

- ・ パリ市との友情盟約60周年記念事業として，国が実施する「日本博」（ジャポニスム2018）とも連携を図りながら，パリ市において能とファッションを融合させたファッションショーを開催するとともに，京都をはじめ日本文化の紹介により京都の魅力を発信する。
- ・ 京都市内においては，パリ及びフランスの文化を紹介する展覧会，演奏会等を実施し，市民レベルでの交流を促進し，パリと京都の文化・芸術の融合，新たな国際都市の創造につなげる。

4年目)

- ・ ボストン市との姉妹都市提携60周年記念事業として，ボストン市において，全米最大規模の日本祭りでの京都国際マンガミュージアムを中心としたコンテンツの魅力発信や，子ども博物館での工芸作家によるワークショップなど，京都の魅力を発信する。
- ・ 京都市内においては，日米両文化を比較するフォーラムや音楽交流イベント等を実施し，市民・民間団体等による交流を一層深め，これまで培ってきた姉妹都市との交流の輪を更に広げていく。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

本市の「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略においては，「日本のこころ」を守り発信する取組や日本の伝統・文化を基軸とした「世界の文化首都・京都」を実現するための施策とともに，「日本のこころのふるさと・京都」の強みを活かした交流人口増加の施策を掲げている。本事業は，これらを国際交

流の観点から複合的に実施するものであり、総合戦略の成果目標として、「京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んであると思う」市民の割合（平成27年度 78.3%→平成31年度 8割以上）、外国人宿泊客数（平成26年度 183万人→平成32年度 300万人）を設定しており、本事業の実施は、この成果目標の達成に直接寄与するものである。

（５）事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

| | | |
|-----|-----------------------|-------|
| 事業 | 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | 年月 |
| KPI | 本事業への外国人参加・来場者数 | |
| 申請時 | 0人 | H28.3 |
| 初年度 | 920人 | H29.3 |
| 2年目 | 950人 | H30.3 |
| 3年目 | 1,380人 | H31.3 |
| 4年目 | 5,700人 | H32.3 |

（６）事業費

（単位：千円）

| 「世界の文化首都・京都」の実現に向けた取組 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | 計 |
|-----------------------|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 事業費計 | 4,987 | 11,454 | 52,000 | 16,065 | 84,506 |
| 区分 | 報償費 | 154 | 154 | 860 | 680 | 1,848 |
| | 旅費 | | | 5,450 | 4,618 | 10,068 |
| | 需用費（諸費を含む） | 283 | 500 | 650 | 250 | 1,683 |
| | 役務費（通信運搬費を含む） | | | 130 | 126 | 256 |
| | 委託料 | 4,550 | 10,800 | 12,005 | 5,916 | 33,271 |
| | 負担金 | | | 32,905 | 4,475 | 37,380 |

（７）申請時点での寄附の見込み

（単位：千円）

| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | 計 |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------|
| 法人名 | (株)ファイブフォックス | (株)ファイブフォックス | (株)ファイブフォックス | (株)ファイブフォックス | |
| 見込額 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 4,000 |

(8) 事業の評価の方法 (PDCAサイクル)

(評価の手法)

本事業のK P Iである本事業への外国人参加・来場者数について、実績値を公表する。

また、本市の政策評価委員会及び事務事業評価委員会により、事業結果を検証する。そのうえで、次年度以降の事業手法の改善を図る。

(評価の時期・内容)

K P Iの実績値が集計でき次第(6月頃)速やかに外部有識者等(本市政策評価委員及び事務事業評価委員等)による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定である。

(公表の方法)

数値目標の達成状況については、検証後速やかに京都市ホームページ上で公表する。

(9) 事業期間 平成28年9月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) ニュイ・ブランシュKYOTO

事業概要: パリ市で毎年開催されている白夜祭に合わせ、アンスティチュ・フランセ関西(フランス政府公式の文化機関)が中心となって、京都市内でフランス・パリの現代アートやダンス、音楽などの多彩な文化を紹介・発信する。

実施主体: アンスティチュ・フランセ関西、京都市

事業期間: 平成23年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から～平成32年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

本事業のK P Iである外国人観光客宿泊数及び参加・来場者数について、実績

値を公表する。

また、本市の政策評価委員会及び事務事業評価委員会により、事業結果を検証する。そのうえで、次年度以降の事業手法の改善を図る。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

K P I の実績値が集計でき次第（6月頃）速やかに外部有識者等（本市政策評価委員及び事務事業評価委員等）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定である。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の方法

数値目標の達成状況については、検証後速やかに京都市ホームページ上で公表する。